
青色の糧 & クレヨンしんちゃん

KINOKO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青色の糧&クレヨンしんちゃん

【Nコード】

N9003V

【作者名】

KINOKO

【あらすじ】

『家庭内恋愛XハヤテのごとくX青色の糧』の事件から一年後。
『家庭内恋愛&仮面ライダー剣&フレッシュプリキュア』で起こった怪人の感染事件。そのもう一方でも事件は起こった。

一年前のある事件を解決させ、学生生活に戻ったフリーカメラマン『風上登士希^{かざかみとしき}』。ある日、恋人の『飛鳥』の父親が謎の中国人に殺害される。中国人を探して中国へと訪れた登士希と飛鳥はかつての友でもあった『しんのすけ一家』と再会し、共に謎の組織と戦って

い
く。

登場人物紹介（前書き）

これは『家恋XハヤテX青糧』からの続編であり、『家恋&プレイド&フレプリ』と同じ時にもう1つの事件が起こったという設定です。

登場人物紹介

登場人物紹介

かざかみとしき
風上登士希（イメージＣＶ：森川智之）

主人公。20歳。普段は大学生でありながら、雑誌に載るほどの有名なフリーカメラマンでもある。一人称は「俺」。純粋で真っ直ぐな性格。幼い頃に習得した空手を武器に1年前のある事件を解決させ、学生生活を送っていたが、ある日、恋人の『飛鳥』の父親が拳法使いの中国人に殺害され、カメラマンという名目で事件の謎を探して中国へと訪れる。世界を撮影していた事から英語、韓国語、中国語、台湾語も堪能である。

野原しんのすけ（ＣＶ：矢島晶子）

もう1人の主人公。5歳。一人称は「オラ」。普段はバカげているが、意外性は高い。今回、家族旅行で中国に行った時に登士希と飛鳥と再会し、事件に巻き込まれてしまう。

あすか
飛鳥（イメージＣＶ：白石涼子）

20歳。容姿は鉄拳のあの娘。メインヒロインであり、登士希の恋人でもある。中学までは関西にいたため、関西弁で話す。一人称は「ウチ」、「あたし」。男勝りな性格で、登士希を誰よりも愛している。ある日、帰宅すると、父親が謎の中国人に殺害され、中国人をシバくために登士希と一緒に中国へと訪れる。実は登士希に内緒

で合気道を習得しており、危険物取り扱いの資格も持っている。

ファルコン（イメージCV：江川央生）

中国人チンピラのリーダー。一人称は「俺様」。短気で口調の荒い性格。初めは中国に訪れた登士希と飛鳥を「よそ者」だと嫌い、登士希と決闘をしたが、敗北。以来、登士希を一方的にライバル視するが、ほとんど一緒に行動する。

野原ひろし（CV：藤原啓治）

しんのすけの父親。ビールとしんのすけ同様ピチピチお姉さんが好み。今回、家族旅行で中国を訪れた時に登士希と飛鳥に再会し、事件に巻き込まれてしまう。強力な足の臭いと家族のために戦う根性が武器。

野原みさえ（CV：ならはしみき）

しんのすけの母親。普段はしっかり者だが、どこか抜けていて、短気な面もある。今回、家族旅行で中国を訪れた時に登士希と飛鳥と再会し、事件に巻き込まれてしまう。恐らく野原一家の中で一番強い。

野原ひまわり（CV：こおろぎさとみ）

しんのすけの妹の赤ちゃん。キラキラ光る物とイケメンに弱く、登

士希がお気に入り。家族旅行で中国を訪れた時、登士希と飛鳥に再会し、事件に巻き込まれてしまう。

ファン・ウェイ（イメージCV：土田大）

拳法使いの中国マフィアのボス。飛鳥の父親を殺害した張本人。途中、登士希の存在を知り、一年前のある事件に関わっていた事を知り、格闘家として登士希と戦いたいと思うようになる。

プロローグ

雨の夜…。俺は連絡を受け、1つの家に向かっていた…。傘を差さずひたすら打たれ、走っていた…。

「うわっ!?!」

いきなり後ろから黒い車が猛スピードで走ってきて…。俺はなんとか避けた…。

「くっ!?!」

俺は避けた弾みで近くの電柱にぶつかってしまったが、再び走り出した…。

家…。俺が目指していた場所にたどり着いた。静か過ぎる…。雨と雷の音だけが鳴り響いていた…。

「飛鳥!?!」

俺は『飛鳥』と名前を呼び、家に入っていこうとした…。

「うおっ!?!」

1人の男が家から吹っ飛んできた!?!

「おとん!?!」

飛鳥が…。恋人が吹っ飛んだ男の方に駆け寄る…。男は彼女の父親だ。

「飛鳥!？」

俺は飛鳥に駆け寄り、

「登士希!？」

飛鳥は俺に気づいたが、すぐに父親の方へと向き直し、

「おとん!？しっかりし!？しっかりしいや!？」

俺は家の方へと顔を向けると…。

「金^{きん}はどこだ？」

家から中華服を着た中国人らしき男が現れた…。

「教えるもんかいなあ…。」

飛鳥の父親は声を振り絞る…。

「あなたは…。」

俺は中国人に尋ねるが…。

「どけ。小僧。お前に用はない。」

中国人の狙いは飛鳥の父親…。

「悪いけど…。理由がわからないまま、帰るなんてできないんだ！」

「!？」

俺は構える。空手の構えだ。中国人は一瞬驚いたが、

「空手か。面白い！」

中国人も構える…。

「登士希…。」

中国人の後ろからガードマンらしき連中が集まる…。

「小僧。下がらないなら死ぬがいい！」

中国人の一言でガードマン達が俺に向かう。

「生憎、俺も望んでいない修羅場をくぐってきたんだ！」

俺は拳に力を入れ、

「はっ！」

まずは1人にアッパーカット。

「ふっ！」

2人目に肘打ち。3人目は俺にパンチをする。

「とお！」

俺は右腕でパンチをガードし、すぐさま、回し蹴りを放つ。

「はっ！」

4人目の腕を片手で掴み、その状態で肘打ち、背負い投げ、踏みつけをする。5人目、最後の俺にキックをし、俺はガード。俺は右拳に力を集中する。

「龍尾！」

俺はまっすぐ正拳突きをし、拳の先から緑色の風が放出され、吹っ飛ばした。

「登士希！そないな奴やつたれ！」

俺の戦いを見ていた飛鳥は促す。

「やるな！そんな技を使うとはな！」

中国人は再び構え、俺も構え直す。

「せえいやあ！」

中国人は俺に飛び蹴りを放ち、俺はガードする。

「まだまだ！」

中国人は連続パンチをし、腕を動かしてガードしていく。

「はぁ！」

俺は回し蹴りを放つが…。

「はぁ！」

「ぐっ！？」

中国人は俺の回し蹴りをかわし、横飛び蹴りを放ち、喰らってしま
う…。

「登士希！？」「

「シュッ！」

俺は縦に手刀を放つが…。

「甘いわ！」

「ぐっ！？」

手刀を受け止められ、俺は投げられてしまう。

「空手。取るに足らず！」

中国人が俺に拳を…。あれ？喰らっていない…。

「飛鳥！？」「

「飛鳥!？」

飛鳥が俺の前に立ち、中国人の拳を合気道の動きで受け止めていた…。

「小癪な小娘め!」

「ぐふっ!？」

中国人は気法で飛鳥を吹っ飛ばし…片手で首を締め上げる…。

「やめろ!？飛鳥を放せ!？」

「飛鳥!？」

「さあ言え!金はどこだ?さもなければ、この娘を殺す!」

中国人はもう片手で手刀をしようとしていた…。

「金は…。中国の別荘にある。」

飛鳥の父親が答えてしまったが…。

「孫^{そん}を覚えているな?」

孫?

「この娘には用はない!」

なっ!?

「登士希い!?!」

飛鳥が叫び、中国人は飛鳥に手刀をしようとする!?

「くっ!?!」

俺はすかさず、中国人の手刀を受け止め、中国人は飛鳥を放し、俺から振り切った。

「小僧…。名前は?」

中国人が俺に問い、俺は苦笑いしながら、

「知らない人に名乗る名前なんかないね…。」

「我が名はファン・ウェイ。」

ファン・ウェイか?

「どうするの?俺も殺すのか?」

「やめておこう。お前の空手。興味深い!名は?」

「信用できないよ。」

「ならば、通報でも何でもするといい!さあ!名乗れ。」

仕方ない…。下手しても通報とかするしかないだろうし…。

「登士希。風上登士希。もういいだろ？」

中国人は無言になり、俺は飛鳥と一緒に飛鳥の父親を抱え、その場から逃げた。

ファン「風上登士希。奴に関する資料を集めよ。間違えても殺さずに生かせ。私が倒す。」

ガードマン「はっ！」

大雨の中、ファンは空を見上げていた…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9003v/>

青色の糧&クレヨンしんちゃん

2011年10月6日04時23分発行